

国際交流センターだより vol.10

「第4回 英語で学ぶ医学・看護学WEBセミナー」を開催しました

12月21日、本学の学術交流協定校である、オックスフォード大学生理学・解剖学・遺伝学部門の名誉教授、John Morris 先生をお招きし、ご講演をいただきました。Morris 先生は過去にも2度、本学を訪問されており、今回は「Reflections of an anatomist on a life studying neuroendocrinology」と題して、医学科2年生対象の講演となりました。

オックスフォード大学 生理学・解剖学・遺伝学部門
名誉教授 John Morris (ジョン・モリス)

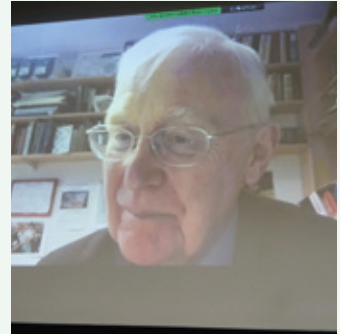
To Medical and Nursing students of Nara Medical University

Dear Nara Students,

One of the great pleasures of my academic life has been my contacts with medical researchers in Japan, including Professor Nishi. I have been fortunate to visit Nara Medical University on two occasions when I enjoyed discussing medicine and research with researchers and students and seeing this ancient capital of Japan. I bring you best wishes from the medical and science students of Oxford and hope that, in future, you will have the chance to visit Oxford.

I have spent most of my career teaching anatomy, endocrinology, and studying neuroendocrine neurons. We now know that these neurons have important effects in the nervous system in addition to those exerted via the circulation, but there is still much to discover about these effects. Perhaps some of you will, in future, be part of that discovery.

Every good wish,
John Morris



奈良県立医科大学 第一解剖学 西 真弓

奈良医大とオックスフォード大学生理学・解剖学・遺伝学部門は、2008年に学術交流協定を結んで以来、これまで数回の交流を行っています。同大 John Morris 先生には2012年と2013年に訪日し特別講演(対面)を行っていただいたほか、人体解剖学実習にも一度だけ現地参加の上、学生に対し直接指導をしていただきました。今回はZoomでのご講演になりましたが、「Reflections of an anatomist on a life studying neuroendocrinology」の演題で先生の長年にわたる神経内分泌学研究について美しい電子顕微鏡写真などをふんだんに用い、大変魅力的なお話をお聞かせいただきました。今はコロナ禍で海外へ行く機会が減っていますが、学生さんたちには将来的に是非とも海外で研鑽を積み、国際的に活躍する医師、医学研究者になってほしいと思います。



学生の声

医学科2年 小泉 悠翔

モリス先生の講演を通じて、様々な国の方と協力して学びを深めることの重要さと面白さを実感しました。広く世界を見渡してみると自分の学んでいることを別の視点から学んでいる人と出会うことができ、研究においても臨床においても視野が広がると思います。

日本人にとって英語を学ぶことは言語間距離が遠いことから難しい側面もあるので、こうした機会にネイティブの先生が直接講演して下さるのは貴重な機会だと感じました。

